

第35週(8月29日～9月4日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

今週は、14定点中13定点からの報告です。

○RSウイルス感染症は、定点あたり1.6人で、先週(定点あたり0.9人)に比べ増加しました。医療機関から増加傾向というコメントもいただいています。

○ヘルパンギーナは、都での流行警報は終息しましたが、八王子市では、定点あたり6.2人と、先週(定点あたり5.6人)より増加しました。警報レベルが続いています。

症状が落ち着いても、便からウイルスが長期に排出されます。手洗いをしっかり行いましょう。

○感染性胃腸炎は、定点あたり9.6人で、先週(定点あたり8.2人)に比べ増加しました。

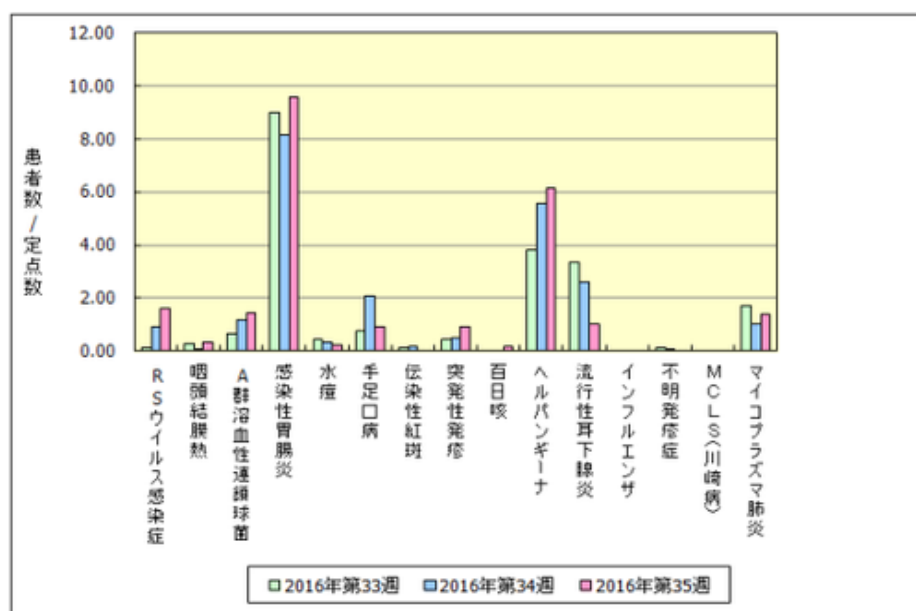
○流行性耳下腺炎は、定点あたり1.0人で、先週(定点あたり2.6人)と比べ減少しました。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり1.4人です。2016年は、2014年・2015年に比べ、報告数が多い状況です。

○感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。

【麻しん】

○麻しんの報告が1件ありました(30代女性)。感染経路ははっきりしていません。周囲の方について、健康観察を行っています。



第35週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第30週	2016年 第31週	2016年 第32週	2016年 第33週	2016年 第34週	2016年 第35週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	2 ↓	2 →	0 ↓	1 ↑	11 ↑	21 ↑	112
咽頭結核熱	13 ↑	5 ↓	4 ↓	3 ↓	1 ↓	4 ↑	319
A群溶血性連鎖球菌	27 ↓	13 ↓	12 ↓	7 ↓	14 ↑	19 ↑	1278
感染性胃腸炎	108 ↑	96 ↓	59 ↓	99 ↑	98 ↓	125 ↑	4633
水痘	13 ↓	8 ↓	10 ↑	5 ↓	4 ↓	3 ↓	222
手足口病	22 ↑	24 ↑	11 ↓	8 ↓	25 ↑	12 ↓	165
伝染性紅斑	2 ↑	2 →	1 ↓	1 →	2 ↑	0 ↓	132
突発性発疹	5 ↓	7 ↑	2 ↓	5 ↑	6 ↑	12 ↑	254
百日咳	3 ↑	2 ↓	1 ↓	0 ↓	0 →	2 ↑	33
ヘルパンギーナ	135 ↑	118 ↓	64 ↓	42 ↓	67 ↑	80 ↑	754
流行性耳下腺炎	34 →	28 ↓	36 ↑	37 ↑	31 ↓	13 ↓	719
インフルエンザ	0 ↓	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	6930
不明発疹症	2 ↓	2 →	0 ↓	1 ↑	1 →	0 ↓	64
MCLS(川崎病)	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	4
マイコプラズマ肺炎	13 ↑	18 ↑	14 ↓	19 ↑	12 ↓	18 ↑	410

第35週疾患毎発生状況表

第35週	RSウイルス	咽頭結核熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	(川崎病)MCLS	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	6	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	2	2	0	8	0	2	0	5	0	8	1	0	0	0	0
1歳	9	0	1	24	1	5	0	6	0	22	0	0	0	0	0
2歳	3	0	3	16	0	3	0	1	0	21	0	0	0	0	2
3歳	1	1	2	11	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0	2
4歳	0	1	3	11	0	1	0	0	0	7	2	0	0	0	0
5歳	0	0	1	13	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	1
6歳	0	0	4	3	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	1
7歳	0	0	1	8	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
8歳	0	0	1	7	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
9歳	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10～14歳	0	0	0	10	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	4
10～12歳												0			
13～14歳												0			
15～19歳	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	4	19	125	3	12	0	12	2	80	13	0	0	0	18

第35週年齢別発生状況表